



【2025年の崖まで残り3ヵ月！企業のクラウド化における実態調査】 70%以上の企業が「2025年の崖」を理解していない結果に。企業におけるシステム老朽化と技術者不足によるDX停滞リスクが浮き彫りに。

クラウド型人事労務システム「ジンジャー」を提供しているjinjer株式会社(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:桑内 孝志 以下、jinjer)は、企業の情報システム部門およびDX推進担当者、計360名を対象に「2025年の崖まで残り3ヵ月！企業のクラウド化」に関する調査を実施しました。

2025年の崖まで残り3ヵ月！ 企業のクラウド化における実態調査

70%以上の企業が「2025年の崖」を理解していない結果に。
企業におけるシステム老朽化と技術者不足によるDX停滞リスクが浮き彫りに。



■調査サマリー

TOPIC 01 70%以上の企業が「2025年の崖」を知らない・もしくは詳細を理解していないと回答

TOPIC 02 「2025年の崖」への対応策における最大の弊害は「社内にシステムに詳しい人がいない」

TOPIC 03 DX推進における人事労務の優先順位は上がりきっていない状況だが、優先順位が高いと回答している企業は「業務効率化」「社員のエンゲージメント向上のため」「柔軟な働き方を推進するため」を目的としてDXを推進している

■調査の背景

「2025年の崖」問題は、DXの進展に伴い、あらゆる規模の企業が直面する重要な課題として注目されています。多くの企業では、システムの老朽化やDXを推進するためのリソース不足が大きな障壁となっており、これらの課題に対応しない限り、競争力の低下や業務効率の悪化が懸念されています。

本調査では、2025年の崖に関連する企業のDX推進状況と課題を明らかにし、今後の戦略的な対応策を導き出すための指針を提供することを目的に、その実態を調査しました。

■調査概要

- ・調査概要: 「2025年の崖まで残り3か月！企業のクラウド化」の実態調査
- ・調査方法: インターネット調査
- ・調査期間: 2024年9月5日～同年9月7日
- ・調査対象: 企業の情報システム部門およびDX推進担当者、計360名

《本調査の利用について》

1 引用いただく際は、情報の出典元として「jinjer株式会社」の名前を明記してください。

2 ウェブサイトで使用する場合は、出典元として、下記リンクを設置してください。

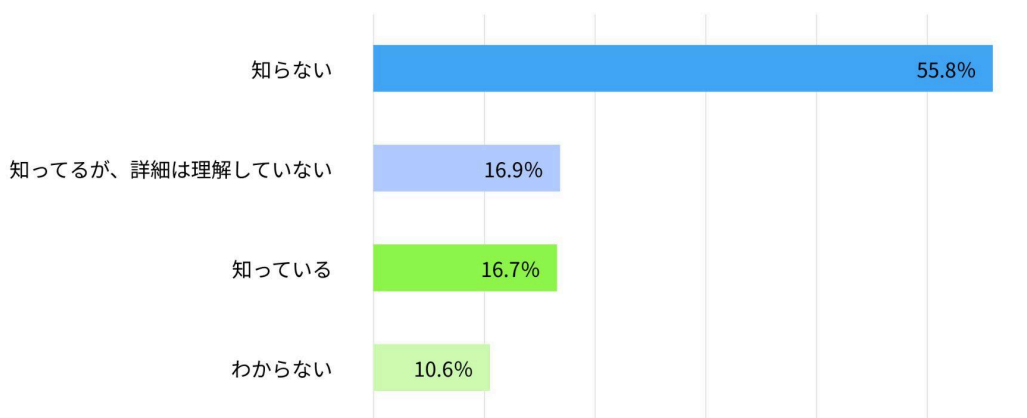
URL: <https://jinjer.co.jp/>

※全9問の質問内容のうち、本リリースでは一部を掲載しています。調査結果の全容を知りたい方は、下記URLよりご覧ください。

▶調査結果の詳細: <https://hcm-jinjer.com/blog/dx/2025gake/>

■70%以上の企業が「2025年の崖」を知らない・もしくは詳細を理解していないと回答

Q2. 「2025年の崖」という言葉を知っていますか。

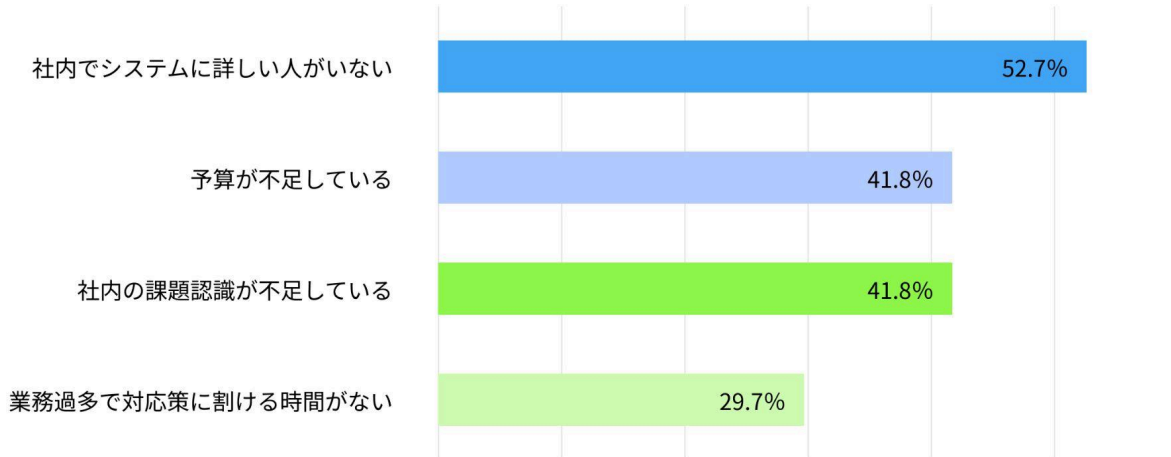


調査期間：2024年9月5日～同年9月7日

「2025年の崖」という言葉をしっていますか？と質問したところ、「知らない(55.8%)」、「知ってるが、詳細は理解していない(16.9%)」を合わせると72.7%という結果となりました。

■「2025年の崖」への対応策における最大の弊害は「社内でシステムに詳しい人がいない」と50%以上の企業が回答

Q6. 「2025年の崖」に対する対応策を進める際、どのような弊害がありますか。（複数回答可）

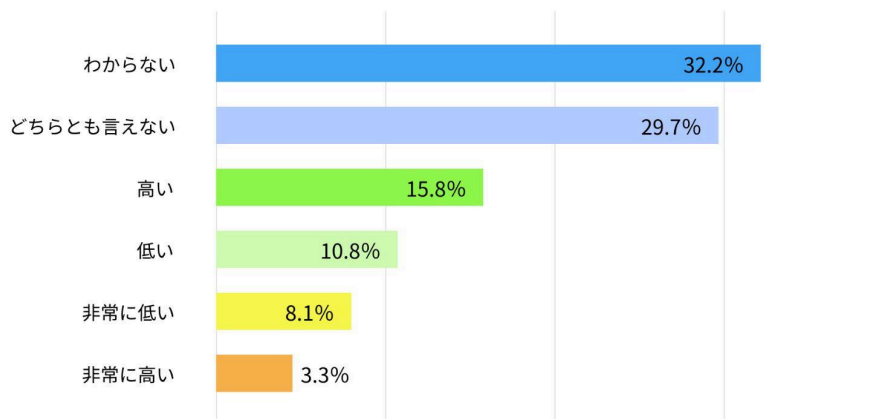


調査期間：2024年9月5日～同年9月7日

「2025年の崖」に対する対応策を進める際、どのような弊害があるかについて質問したところ、「社内でシステムに詳しい人がいない(52.7%)」が最多意見でした。次いで「予算が不足している」、「社内の課題認識が不足している」が41.8%(同率)となりました。

■DX推進における人事労務領域において、企業が優先順位の判断に迷っている状況が伺える

Q8. DX推進における人事労務領域の優先順位は高いですか。



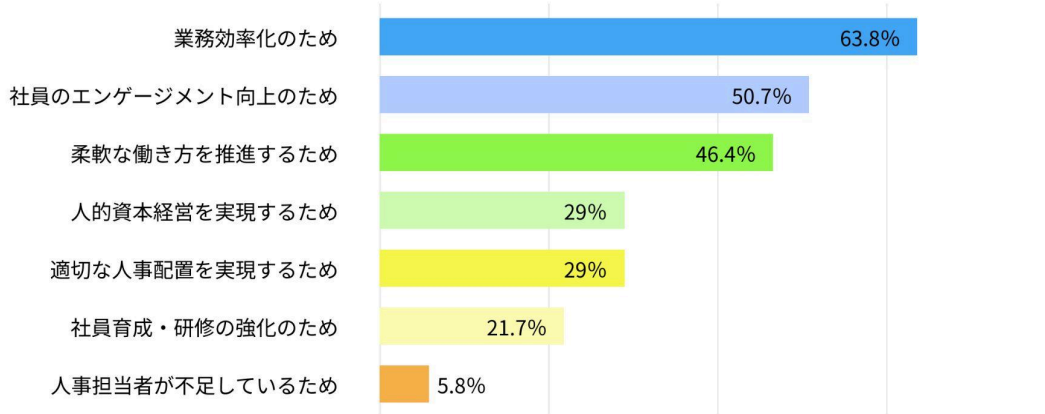
調査期間：2024年9月5日～同年9月7日

人事労務業務のDX推進に対する優先度については、「わからない(32.2%)」、「どちらとも言えない(29.7%)」という回答が多く見られ、企業が優先順位の判断に迷っている状況が伺えます。

■人事労務領域におけるDX推進の優先順位は「業務効率化」が最多



Q9. 人事労務領域におけるDX推進の優先順位を高く設定している場合、その理由は何ですか？（複数回答可）



調査期間：2024年9月5日～同年9月7日

人事労務領域におけるDX推進の優先順位を高く設定している企業を対象に、その理由を質問したところ、1位は「業務効率化のため(63.8%)」、2位は「社員のエンゲージメント向上のため(50.7%)」でした。その他の意見としては「人的資本経営を実現するため(29%)」や、「適切な人事配置を実現するため(29%)」といった回答もありました。

■jinjer CPO(最高プロダクト責任者)からのコメント



「2025年の崖」を目前に、多くの企業に対してDXの実現が求められる中、本調査では70%以上の企業がこの危機を十分に理解していないという結果が出ました。DXの停滞の背景にはシステムの老朽化や技術者不足といった課題があり、今後企業が持続可能な成長を実現するためには、これらの課題に迅速かつ的確に対応することが必要不可欠です。

jinjerはこれまで自社のサービスを通じて、企業の業務効率化と生産性向上を支援してまいりました。

この「2025年の崖」に向けても独自の価値を提供できると確信しています。クラウド化が加速していく中で、ジンジャーの統合プラットフォームは、企業が抱える複雑なシステム環境をシームレスに移行・運用するための強力なサポートとなります。

jinjerは、多くの企業がこの「2025年の崖」という転換期を乗り越え、強固なIT基盤の上で次のステージへ進むための確かな道筋を提供していきます。

■クラウド型人事労務システム「ジンジャー」とは

「ジンジャー」は、人事労務・勤怠管理・給与計算などの人事の定型業務から人事評価・eラーニングといったタレントマネジメントまで、1つにまとめて管理できるクラウド型人事労務システムです。

人事情報を1つに統合した「Core HRデータベース」によって、勤怠集計からの給与計算や、社会保険手続きに関する帳票類の入力といった定型業務の効率化・自動化を支援します。

また、それぞれのシステムのデータベースがつながっているため、データベースの自動反映や役割変更に応じた各システムへの権限変更の自動化などを実現します。

▶「ジンジャー」サービスサイト：<https://hcm-jinjer.com>

■会社概要

PRESS RELEASE



会社名 :jinjer株式会社
所在地 :東京都新宿区西新宿 6-11-3 WeWork Dタワー西新宿
代表者 :代表取締役社長 桑内 孝志
URL :<https://jinjer.co.jp/>

【本件についての報道関係のお問い合わせ先】
jinjer株式会社 広報室(E-mail:pr@jinjer.co.jp)